

「ICT推進プロジェクト」について

● ICT推進事業	104,480 千円
・ 地方創生推進交付金事業（藤枝市との連携事業）	
「ICTで人の流れを呼び込む 教育・産業づくり推進プロジェクト」	102,000 千円
・ Pepper 導入事業	2,480 千円
※記載している予算額は、島田市単独のものです。	

地方創生推進交付金事業（藤枝市との連携事業）

「ICTで人の流れを呼び込む 教育・産業づくり推進プロジェクト」

■事業目的

若年世代の転出超過や主要産業における生産額の減少及び人材不足といった当市の抱える課題に対し、産業・教育分野へのICTの導入を推進し、地元産業の労働生産性、競争力の向上を図り、若年世代から地元での就職やU・Iターン先として選ばれる「稼ぐ力のあるまち」を目指すとともに、ICT教育の下地づくりと即戦力となるICT人材の育成を行っていく。

また、クラウドソーシングなどの時間と場所に捉われない「新たな働き方」の創出を推進し、「子育てしやすいまち」として、更なる子育て世代の転入増に繋げていく。

なお、同じ課題を抱える藤枝市とお互いの強み、スケールメリット等を活かしながら更なる効果を生み出す連携事業とする。

■事業実施年度

平成 28 年度～平成 32 年度（5 年間）

※平成 28 年度は実態調査（アンケート調査 2 件）及び ICT コンソーシアムの設立

■事業実施方法

「(仮称) 島田市 ICT コンソーシアム」を設立し、当該組織に一括委託することで、事業を一体的に実施し、相乗効果を高める

・ 構成団体：市内民間企業、金融機関、大学、小中高、商工会議所、商工会などを予定

※平成 29 年 3 月 29 日（水）設立予定

■平成 29 年度予算額（島田市単独）

102,000 千円	人材育成	: 34,000 千円
	産業 ICT 導入	: 24,000 千円
	クラウドソーシング	: 44,000 千円

■財源

地方創生推進交付金（先駆タイプ）

・ 交付金上限 : 1 事業あたり 国費 1 億円／年（事業費ベース 2 億円）

・ 交付率 : 1 / 2

■事業概要

【①人材育成 H29 予算額：34,000 千円】

(目的)

- 地元 ICT 企業、高校生、大学生等による学習、講座を実施し、未来の島田市を担う人材の育成を行うとともに、地元就職への「意識づけ」を図っていく。
- 幅広い年代、レベルに応じた教育、講座等を実施し、ICT 人材のすそ野を広げる。

(事業案)

- ・ 中学校でのロボット (Pepper) を活用したプログラミング体験学習
(予定) 市内中学校でのプログラミング体験学習 (3年間)
- ・ ICT エキスパート養成 (世代に応じたステップアップキャリア形成)
 - ・ 体験学習から興味をもった人材、能力をさらにステップアップ
 - ・ 地元企業、高校生、大学生等が関わることで、地元就職、Uターンへの意識づけ
小学生向け ロボット製作&プログラミング講座
中高生向け 子ども ICT・IoT 起業塾
社会人向け Resas・ビッグデータ活用塾

【②地元産業への ICT 導入促進 H29 予算額：24,000 千円】

(目的)

- 市内中小企業が抱える人材不足や、生産性の伸び悩みなどの課題に対して ICT の導入・活用を推進し、課題の解決を図るとともに、新たな分野への進出、新たな雇用を生み出していく。
- 先進企業とのマッチング機会による新たなビジネスの創出や、ICT・IoT などの先進技術の研究や実証実験を行い、地域課題の解決を図るとともに、新たな産業の創出等を図っていく

(事業案)

- ・ セミナー・ワークショップの開催
ICT利活用に係る多様なニーズに応じた様々なセミナー・ワークショップを開催し、ICTの利活用による効果等について周知、啓発を図っていく。
- ・ 専門員派遣 (相談・診断・導入・利活用支援)
ICTを活用した人材不足の解消、生産性のアップなどを旨とする事業者に対し、専門員を派遣し、ICT導入・利活用の支援を図っていく。
- ・ 市内外企業や組織とのマッチング機会の創出
市内外の先進企業とのマッチングの機会を設けることなどにより、新たなビジネスの創出を図っていく。
- ・ ICT・IoTを活用した新たな技術開発・研究・実証実験 ※H30以降を予定
市内産業が抱える課題に対して、ICT・IoT を活用した新たな技術開発や研究、実証実験を市内事業者が中心となり行うことで、課題解決、地域経済の活性化を図っていく。

【③クラウドソーシングの推進 H29 予算額：44,000 千円】

(目的)

- 人口減少、超高齢化社会が進行し、特に生産年齢人口（15歳～64歳）の減少は、様々な産業において人手不足という影響を及ぼし始め、経済規模や労働市場の縮小につながることを予測されている。
- 結婚、出産、子育て、介護等の様々な理由により、働きたくても働きに出ることが難しい市民を「潜在的な働き手（ワーカー）」として捉えて、企業（仕事）と働き手（ワーカー）とのマッチングを行い、企業側の人材不足の解消やコスト削減による経営強化、市民一人ひとりの個人所得の向上を図るため、時間や場所に捉われない新たな働き方として、「クラウドソーシング」の導入を推進していく。

(事業案)

・クラウドソーシング・ワーカーの育成

クラウドソーシングで仕事を請け負うために必要な知識の訓練(基礎訓練、実務訓練)やスキルアップを支援。

・企業のクラウドソーシング活用支援

企業のクラウドソーシングの活用を推進するために、クラウドソーシングの活用方法について企業向けセミナーを開催するとともに、クラウドソーシング発注体験事業を実施

・クラウドソーシング普及・啓発促進事業

企業及びクラウドソーシング・ワーカーに対して、クラウドソーシング活用セミナーやコミュニティネットワーク形成を促すためにコミュニティイベント等を開催し、クラウドソーシングの更なる普及・啓発を促進。

・クラウドソーシング運営事業者支援

仕事の発注者側及び受注者側をマッチングするサイト運営等を行う運営事業者を支援

■藤枝市との連携事業について

- ・「(仮称)藤枝・島田 ICT 推進協議会」を設立。(平成 29 年 4 月設立予定)
- ・協議会での事業については、スケールメリットを生かした事業を実施していく。
※具体的な事業については、調整中。

「Pepper」導入事業

■目的

市では、平成29年度からの「ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト」の本格実施に向けた事業PR及び事業シンボルとしてPepperを導入し、気運の醸成を図る。また、市役所総合案内に設置し、市民のICT・ロボット等への関心を高めることを目的とする。

■導入するPepper

ソフトバンクロボティクスが開発・提供する「Pepper」の法人向けモデル「Pepper for Biz」（高さ約1.2m、重さ29kg）

■導入時期及び期間

平成29年4月設置予定 ※平成32年3月まで（3年間）

■設置場所

島田市役所本庁舎 正面玄関 総合案内

■活用方法

多くの市民に触れて、体験してもらうため市役所正面玄関へ設置し、ICT・ロボット・プログラミング等への関心を高めることを目的とし、主に次のような活用を行う。

- ①フロア案内（マイアプリ開発）
- ②来客者対応（基本アプリカスタマイズ）

■平成29年度予算額

2,480千円	委託料	: 1,500千円	（アプリ開発）
	使用料及び賃借料	: 980千円	（ペッパー賃借料）